

蝶々夫人

Madama Butterfly
Giacomo Puccini



蝶々夫人
愛知智絵



ピンカートン
小山陽二郎



シャープレス
澤脇達晴



ピアノ
浅野菜生子

狂言 と オペラ

第3弾

身勝手な男に
翻弄させられる女たち



電気文化会館 ザ・コンサートホール

2021年 5月 18日 火 18:30 開演 18:00 開場【全自由席】

一般 前売り5,000円 当日 5,500円 学生 3,000円

チケット取扱い livepocket ticket



今枝郁雄
(和泉流狂言師)



佐藤 融
(和泉流狂言師)



鹿島俊裕
(和泉流狂言師)

鈍太郎

Dondaro

オペラ

Giacomo Puccini

Madama Butterfly 蝶々夫人

作曲: ジャコモ・プッチーニ

『蝶々夫人』は明治時代の長崎を舞台にしたオペラで、15歳の没落藩士令嬢の蝶々夫人とアメリカ人海軍兵のピンカートンとの悲しい物語です。

ピンカートンは日本に滞在する間の戯れに、幹旋屋のゴローに頼み、丘の上の小さな家と相手をしてくれる女性を買いました。そこに紹介されて来た15歳の可愛らしい女性(蝶々夫人)をととても気に入り結婚の契りを結びます。結婚式の夜、蝶々夫人はこの結婚のためにキリスト教に改宗したことをピンカートンに打ち明け、永遠の愛を誓います。しかしピンカートンは任務を終え、「コマドリが再び雛を抱く季節に帰ってくるよ」と言い残しアメリカに帰ってしまいます。それから3年、蝶々夫人は彼の言葉をひたすら信じて、帰りを待ち続けます。お金も底をついてきていたある日、蝶々夫人の前に長崎在住のアメリカ領事のシャープレスが現れ、ピンカートンのことは忘れて新しい生活を考えるように説得します。しかし、蝶々夫人は彼との間にできた子供をシャープレスに見せ、彼はきっと帰ってくると言い放つのでした。その頃ピンカートンはアメリカ人の新しい奥さんとのハネムーンのために日本にやってきます。そうとは知らず、毎日港に入る船を見て、彼の帰りを待っていた蝶々夫人は、彼の乗った白い船が港に入ってくるのを見つけ喜び、スズキと一緒に彼のために部屋を花でいっぱいにして、夜明けまで彼が会いに来てくれるのを待つのでした。しかし、やっと蝶々夫人の前にピンカートンが会いに来ますが、ピンカートンはシャープレスから蝶々夫人との間に子供ができたことを知らされ、蝶々夫人にその子をアメリカ人の奥さんと育てるから渡して欲しいを頼みます。失意にかられた蝶々夫人は決意を固め、子供に遊んでいらっしやいと優しく抱きしめ、その後、父の形見の短刀で自害し、遠くからピンカートンが「蝶々さん!蝶々さん!」と叫ぶ声が聞こえる中、蝶々夫人は息を引き取ります。

オペラ 狂言

鈍太郎 Dondaro

三年以上も西国暮らしの末に帰京、我が家の戸を叩いた鈍太郎、ところが妻は戸を開けようとしな。仕方なくかねて馴染みの下京の女の家を訪ねるが、ここでも同様の始末。世の無情と感じた鈍太郎は、元結いを切り、修行の道に入ることを決意する。翌朝になって昨夜訪れたのがまことの鈍太郎だったと知った二人の女が協力して待ち受けるころへ、出家姿の鈍太郎がやって来る……。狂言の登場人物は本来名前を持たないが、ことさら鈍太郎と名前を与えられているのは、この男の性格を表すものだ。女二人に自分の言いたい放題の条件を吞ませて、手車の上で喜々としてハシャグまくる男の姿は、よく見れば滑稽で哀れでさえある。女の手車はお釈迦様の手のひら、実はすべてお見通しの女たちに乗せられているのかもしれない。

狂言

■ お客様に安心・安全にご鑑賞いただくべく、キャスト、スタッフ一同感染拡大防止に関する取り組みを行ってまいります。何卒、お客様にはご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

□ チケット取扱い

livepocket ticket



QRコード

電気文化会館 ザ・コンサートホール
名古屋市中区栄2-2-5 Tel. 052-204-1133

《地下鉄》東山線・鶴舞線「伏見」駅④番出口より東へ徒歩2分
《市バス》「広小路伏見」徒歩約1分、「広小路本町」徒歩約2分
《自動車》広小路長島町の信号を南へ30m 右側に駐車場入口あり(有料)

□ お問い合わせ

Nagoya Si 事務局: 070-4399-2692 (大橋) NagoyaSi
https://nagoya-si.com progetto.canzone310@gmail.com

